



# カムくん通信



ホームページ↓



美々津小学校だより

**12月号①**

令和6年12月2日

文責：校長 小野原

仲良し 協力 思いやり 希望あふれる 美々津小

## 6年生「学級の歌」！

12月に入りました。今年も残り1か月です。早いですね。

さて、先日の朝、6年生の教室で担任の先生から「学級の歌を作ったので、よかったら聴いてください」と言われ、聴いてみました。歌詞は自分たちで考えたそうです。替え歌ですが、歌詞にも歌の上手さにも感心しました。

「夢ではない僕らの番だ」「みんなと歩む理由はみんなで決める」「夢を自転車の後ろに乗せて」など、13人らしいなあと思う歌詞でした。

これからも小学校生活最後の1年を楽しみ、日々を大事に過ごしてください。残りの4か月も最上級生としてよろしくお願いします。



## 12月の主な行事予定

- 2日（月） 全校朝会
- 6日（金） 持久走大会  
オープンスクール
- 10日（火） 出前授業「茶道教室」4年
- 16日（月） 冬休み前全校集会
- 17日（火） 学力テスト（4年以外）
- 18日（水） 凧作り教室（5・6年）
- 24日（火） 2学期終業式

## 1月の主な行事予定

- 7日（火） 3学期始業式
- 8日（水）～10日（金） 身体計測
- 10日（金） 給食感謝集会
- 14日（火） 読み聞かせ
- 17日（金） 凧揚げ教室（5・6年）
- 20日（月） ぴよんぴよんタイム開始  
中学校入学説明会

## 12月全校朝会の話

おはようございます。

今日のテーマは、『どりょくのつぼ』というお話です。

今までできなかったことに挑戦しようとするとき、目に見えない

「努力の壺」の様なものが、心の中にできるそうです。

そして、その壺の中に努力の水を入れていき、いつかあふれ出ると、できるようになるということです。



ところが、その壺には4つの特徴があるということが、わかっています。

一番め。「人によって壺の大きさが違う」

すぐにできるようになる人もいれば、時間がかかる人もいるのは、大きさが違うからです。すぐにできるようにならないときは、壺に努力の水がたまっているときなので、我慢することが大事です。そして、努力の水があふれ出るときは、突然やってきます。

二番め。「努力の水を入れ続けなければ、水は乾いてなくなってしまう」

がんばっているときは、だんだん上手になってきたとを感じるかもしれません。しかし、ここで油断してがんばることを忘れてしまうと、あっという間に努力の水は乾いてしまいます。こつこつと努力することが大事です。

三番め。「努力の水が一度でも壺からあふれ出れば、そのあとに減ることはあっても、なくなってしまうことはない」

自転車乗りやかけ算九九も、一度できるようになってしまえば、全くできなくなってしまうことはほとんどありません。ちょっと努力すれば、元に戻ります。



四番め。「大人の壺よりも子どもの壺の方が小さい」

大人になってから努力しても、なかなか上達しません。子どもと大人と一緒に努力し始めたら、子どもの方がすぐに上達します。

大人が、子どもに「今のうちにがんばらないと将来困る」と言うのはそのためです。

「どりょくのつぼ」

がんばってもできるようにならないときに、思い出してください。

これで校長先生のお話を終わります。

